

東京経済 No.390

2024(令和6)年10月号

<https://www.kiyukai-sns.com/>

東京経済大学 葵友会 発行

ロッテ お菓子 **100**名様
能美防災 防災グッズ **20**名様
抽選でプレゼント

〈目次〉

巻頭言

葵友会会長 吉田 寛(昭56)氏

1 東京経済大学へのご寄付について 6

OB・OG 訪問:

株式会社ロッテ マーケティング本部

支部案内・談話室 7

本原 正明(平19)氏

ネットワーク 8

能美防災株式会社 代表取締役社長

2 イベント情報 14

岡村 武士(昭58)氏

ホームカミングデー案内 15

4 新年午餐会・プレゼント企画応募要領 16

「今、再び、全国から選ばれる大学に！」

全国の葵友会支部総会・懇親会に参加し、思うことは、その歴史と大学の存在感である。

昨年伺った関西支部は支部創設90周年、同じく本年、福岡支部は90周年を迎えた。また2026年には山口支部が100周年を迎える。逆算すると3支部の設立は実に、1926年(大正15年)～1933年(昭和8年)である。

このような時代に、関西地区や山陽地区の山口県、九州の福岡県から、いや、全国から東京の大倉高商を目指し学生が志願して入学していたということだ。当時は名門高商として全国にその名を馳せた時代である。

現代は関西にも、九州にも、全国に沢山の大学があり、そこに少子化が加速をかけ、どの大学も今後の志願者獲得が生き残りをかけた大きな経営問題となっている。

さて、葵友会では2022年より父母の会にも協賛頂き、地域のUIターン就職希望学生の支援策として、地域の葵友会支部の総会・懇親会に参加してもらう試みをスタートした。卒業生から様々な情報提供やアドバイスをしてもらうことが目的である。参加した学生からは「母校の先輩から生の声が聞け良かった。」など、高評価をいただいている。その結果、参加学生も今年は16名と年々増加している。一方、高齢化に悩んでいる地域支部にとっても、現役学生の参加は新鮮であり、会場でも次々と先輩が声をかけ、現役後輩への思いが熱いことが窺える。

学生にとっても、高齢化の地域の葵友会支部にとってもwin-winの施策である。そして更に、地域の優秀な高校生を大学の志願者として獲得することができれば、少子化の続く中、大学の志願者獲得にもつながり、学生(父母の会)・大学・葵友会の三位一体となった「持続可能な好循環モデル」が出来上がる。

その昔、全国から学生が志願して入学したように、今、東京経済大学の特色や独自性が求められている。

先日、NHKのETV「知恵泉」で大倉喜八郎翁の特集があった。大倉高商は西洋式簿記と英語を取り入れ、世界で通用する商人を育てることが大きな特徴であった。これは今の実学に通じるが、今こそ東経大ブランドの存在感を示す、他大学との大きな違いを示す必要があると感じる。



葵友会会長
吉田 寛(昭56)